

<報道発表資料>

令和8年1月29日

京都市交通局 自動車部技術課

自動車部運輸課

## 市バスの「前乗り後降り方式」の導入

京都市交通局では、市バス混雑について、運転士不足による輸送力の強化が難しい中、バスの車内混雑や大型手荷物の持込みなどの課題に、より実効性のある対策を打つため、均一運賃系統での「前乗り後降り方式」を導入することとし、令和8年度から取組に着手します。

### 【概要】

#### 1 導入系統

市バス全84系統のうち、均一運賃系統60系統※に導入します。

※ 既に導入している観光特急バス（2系統）は除く。

#### 2 取組内容

##### （1）バス停留所の改修

バスの乗車口（前扉）をお客様の乗車位置（点字ブロック）に合わせる必要があるため、現行より半車体分、停車位置が後ろになります。

これにより、新たに降車口（中扉）となる場所に横断防止柵や植栽、縁石などがある場合、これらの撤去又は改修を行います。また、バス停留所によっては、点字ブロックや標識柱の移設が必要となる場合も想定されます。（詳細別紙）

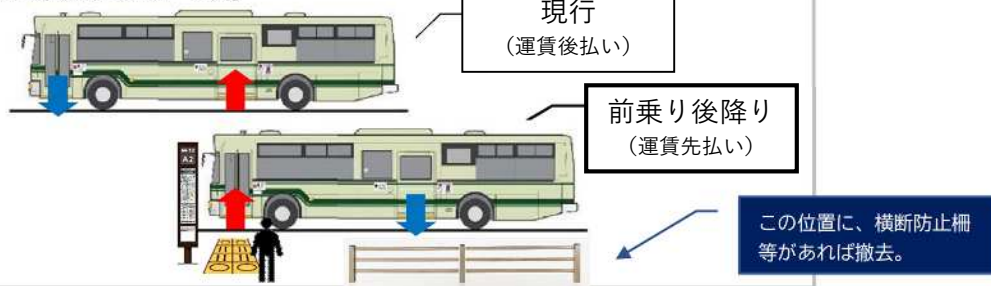
市バス停留所：全1,642箇所

うち、均一運賃区間内にある停留所：1,260箇所

うち、改修工事が必要な停留所：約550箇所

### バス停留所での改修イメージ（例）

【停留所での停車イメージ図】



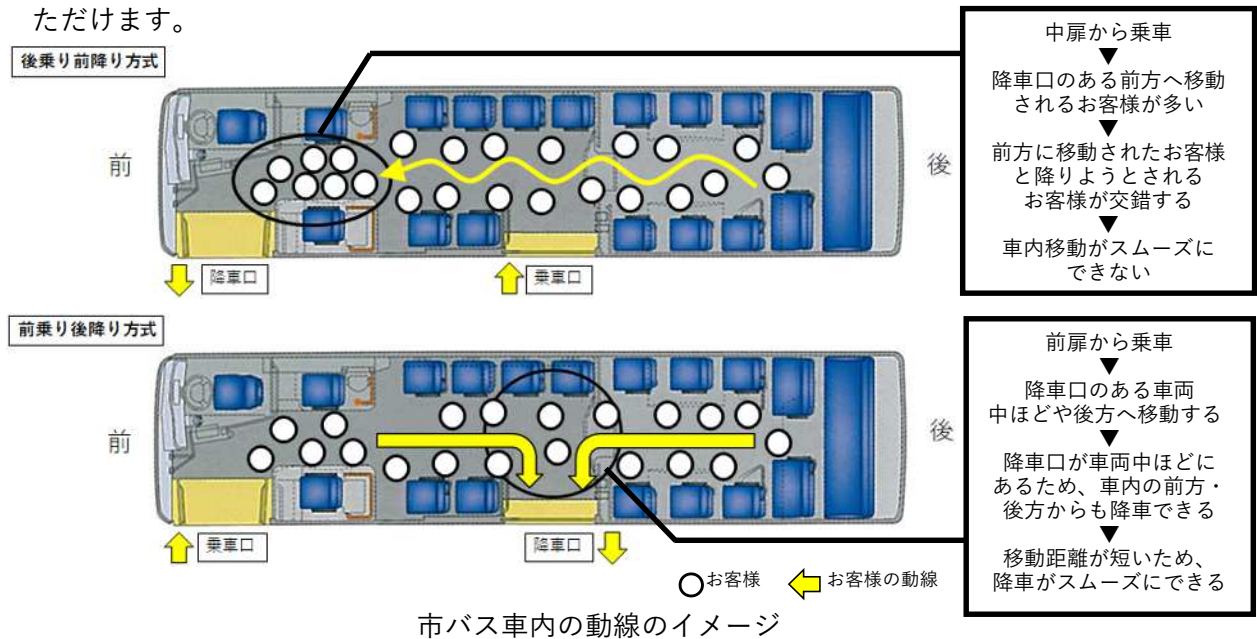
## (2) 車両の改修

車内外の出入口表示、放送装置などの機器改修を行います。

### 【導入効果】

#### ● お客様のスムーズな降車

降車口が車両中ほどになるため、バス車内が混雑した状況であっても、スムーズに降車いただけます。



#### ● スムーズな運賃収受

高額紙幣しかお持ちでない場合やＩＣカードエラーの場合など、お客様への対応が乗車前に可能となります。

#### ● 大型手荷物の車内持込みへの対応検討

乗車時に手荷物を確認できることから、“大型手荷物の車内持込みへの対応”を検討したいと考えています。（具体的な対応方法等は今後検討します。）

### 【スケジュール】

- 令和８年度 バス停留所の改修工事に伴う現地調査、測量・設計
- 令和９～１０年度 バス停留所の改修工事に向けた実施設計  
車両の改修
- 令和１０年度～ バス停留所の改修工事
- 令和１０年度末 市バスの「前乗り後降り方式」の導入を目指します。

**【概算事業費】**

## ● 約 20 億円

※ バス停留所の改修工事に向けた測量・設計業務の中で実施内容を精査し、今後、総事業費を確定します。

**(参考) 経過**

市バスの「前乗り後降り方式」は、お客様のバス車内でのスムーズな動線の確保などを目的に、平成 31 年 3 月から洛バスなどの観光系統で順次導入しました。

その後、均一運賃系統への拡大に向けて、令和 2 年度中に実施計画を策定し、令和 3 年度から着手することとしていましたが、令和 2 年 12 月にコロナ禍の影響による危機的な財政状況を踏まえ、延期することとしました。

コロナ禍以降、市バス利用者が回復したことにより、車内が混雑し前扉から降車することが難しいといった課題が再び生じているほか、高額紙幣しかお持ちでない場合や IC カードエラーによるトラブル、さらには、大型手荷物の車内への持込みなどの課題が顕在化しています。

## &lt;お問合せ先&gt;

## ● バス停留所、バス車両の改修に関すること

京都市交通局 自動車部技術課

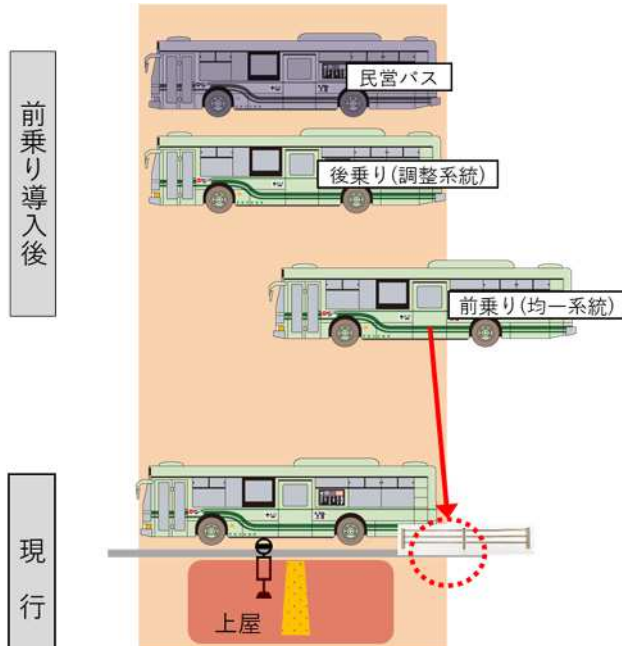
電話：075-863-5154

## ● 事業の概要や導入効果に関すること

京都市交通局 自動車部運輸課

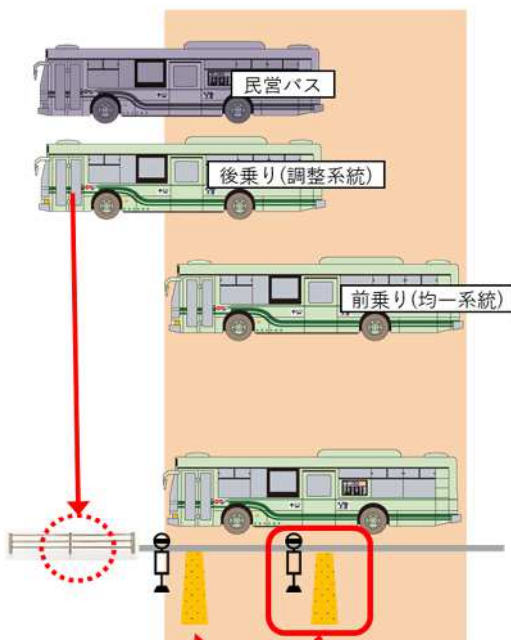
電話：075-863-5132

## ～停車位置の変更とバス停留所の改修イメージ～

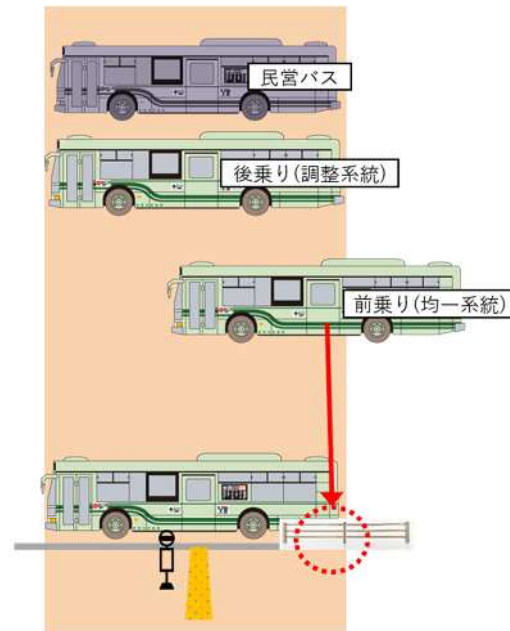


上屋、点字ブロック及び標識柱は移設しない。

### 上屋“あり”の停留所



点字ブロック及び標識柱を移設する場合



点字ブロック及び標識柱は移設しない場合

### 上屋“なし”の停留所



新たな降車口に横断防止柵や植栽等があれば撤去が必要となる。